

社会資本総合整備計画

社会資本整備総合交付金

令和07年02月03日

計画の名称	世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」をはじめとした紀伊半島地域の多様な地域資源を活用した広域観光活性化計画（重点　）													
計画の期間	令和０７年度　～　令和１１年度（５年間）										重点配分対象の該当	○		
交付対象	三重県													
計画の目標	三重県・和歌山県の両県にまたがる日本最大の半島である紀伊半島には、平成16年に世界遺産登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」をはじめとした文化遺産や温泉等の自然資源等数多くの地域資源がある。 これらの地域資源を活用し、当該エリアを中心とした主要社寺等による特別企画、世界遺産の意義について改めて学ぶ記念事業等の多種多様なイベントの開催や史跡や景勝地を巡るスタンプラリーなど観光客の周遊性を高め、地域活性化を図る活動が行われている。 三重県・和歌山県では、これらの活動に合わせて必要な基盤整備を実施することで、紀伊半島地域の更なる魅力向上や圏域外からの誘客拡大を図り、半島地域の特性に即した自立的発展や地域活性化を目指す。													
全体事業費（百万円）	合計（Ａ＋Ｂ＋Ｃ＋Ｄ）		3,700	A	3,700	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （ A ＋ B ＋ C ＋ D ）	0	％

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R1		R11
1	【三重県・和歌山県　共通目標】観光入込客数1,266万人（R1）から1,329万人（R11）に増加　（63万人（5％）の増加）			
	【三重県・和歌山県　共通目標】観光入込客数 （観光入込客数の増加割合）＝（評価時点の年間観光入込客数　－　R1の年間観光入込客数） / （R1年間観光入込客数）	1266万人	万人	1329万人
2	【三重県　単独目標】観光入込客数227万人（R1）から238万人（R11）に増加　（11万人（5％）の増加）			
	【三重県　単独目標】観光入込客数（東紀州地域） （観光入込客数の増加割合）＝（評価時点の年間観光入込客数　－　R1の年間観光入込客数） / （R1の年間観光入込客数）	227万人	万人	238万人
3	【三重県単独目標】各拠点施設間の総アクセス時間を9.5時間・台・日（R11）短縮 道路整備に伴う拠点施設間のアクセス短縮時間に各地点の交通量を乗じることにより、１日の短縮時間を算定 （アクセス時間の短縮効果）＝（Σ整備前のアクセス時間－整備後のアクセス時間）×日交通量（R3道路交通センサス）			
		0時間・台・日短縮	時間・台・日短縮	9時間・台・日短縮

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
観光入込客数の当初現況値は新型コロナウイルス流行前（令和1年）の値とする。												

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
広域活性化事業	A11-001	道路	一般	三重県	直接	三重県	都道府 県道	改築	（主）七色峡線（神川）	現道拡幅 L=0.6km	熊野市	■	■	■			500		-
		（新規採択時評価：R2.4）																	
	A11-002	道路	一般	三重県	直接	三重県	都道府 県道	改築	（国）311号（新鹿）	バイパス整備 L=0.7km	熊野市	■	■	■	■		2,000	1	-
		（新規採択時評価：R2.4）																	
	A11-003	道路	一般	三重県	直接	三重県	都道府 県道	改築	（一）長尾板屋線（赤木 ）	現道拡幅 L=0.5km	熊野市	■	■	■	■	■	500		-
		（新規採択時評価：H31.4）																	
	A11-004	道路	一般	三重県	直接	三重県	都道府 県道	改築	（主）熊野矢ノ川線	現道拡幅 L=0.3km	熊野市	■	■	■			200		-
		（新規採択時評価：R4.4）																	
	A11-005	道路	一般	三重県	直接	三重県	都道府 県道	改築	（主）御浜紀和線（西原 B P）	バイパス整備 L=1.2km	御浜町	■	■	■	■	■	500	1.2	-
（新規採択時評価：H22.4）（再評価（事業継続）：R6.9）（次回再評価：R11）																			
										小計						3,700			
										合計						3,700			

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R06				
配分額 (a)	0				
計画別流用増 減額 (b)	0				
交付額 (c=a+b)	0				
前年度からの繰越額 (d)	0				
支払済額 (e)	0				
翌年度繰越額 (f)	0				
うち未契約繰越額(g)	0				
不用額 (h = c+d-e-f)	0				
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0				
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」をはじめとした紀伊半島地域の多様な地域資源を活用した広域観光活性化計画（重点 ）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 1) 広域的特定活動により、目標達成の可能性が高い。	○
I. 目標の妥当性 目標と広域的特定活動及び拠点施設との関係 2) 広域的特定活動の拠点としての拠点施設の位置づけが妥当である。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 拠点施設・拠点施設整備事業と基幹事業の一体性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 1) 拠点施設で広域的特定活動が実施される見込みが高い。	○
III. 計画の実現可能性 計画の具体性 2) 拠点施設整備を新たに行う場合、その蓋然性が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 民間事業者等の多様な主体との連携が図られている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 2) 事業実施のための環境整備が図られている。	○